

建物及び設備における主な石綿使用状況

(平成17年8月3日現在)

対 象		使用箇所	現状（使用状況等）	備考（対応状況 他）
吹付け石綿		事務所建物の設備機器室・予備電源室、変電所の変圧器室、供給用変圧器室等の吸音材（壁面や天井に使用）	使用場所は把握し、順次撤去中 ・自社建物 : 約 30 棟 ・供給用変圧器室 : 約 290 箇所	通常、施錠した室内のため、第三者への接触等による飛散のおそれはない また、定期的に劣化度調査・浮遊濃度測定を行い安全を確認している 原則として、H18年度までに撤去予定
石 綿 含 有 製 品	建材	建物の耐火ボード等	・H16.10以前に使用された建材中に含有していると考えられる。それ以降は石綿含有製品は使用していない。	成形品であり、通常状態において飛散性はないが、定期検査や修繕工事等の機会に合わせて、順次非石綿製品へ取り替えていく
	防音材	変圧器の防音壁等（変電設備・水力発電設備）	・約 670 台	
	石綿セメント管	地中線用の管路材料（送電設備・配電設備）	・亘長 : 約 160 km （S60年以降、メーカーで製造停止したため、新規の使用はなし）	
	保温材	発電設備（火力設備、原子力設備等）	・石綿含有製品残数 : 約 9 万 m ³ （全数の約 4 割）	
	耐熱・耐火板	配管橋の耐火板 配電塔内の耐熱板	・約 90 箇所	
	あて板	一般家庭の一部のアンペアブレーカの裏側	・S63年製造以前の单相2線式30Aのブレーカの裏側に使用 : 約 180 万個	一般のお客さまのお宅内に取付けた設備として、昭和63年以前に製造された单相2線式30アンペアブレーカーの裏側に、「あて板」として使用されているものがある これは成形品であり、加えて金属板に覆われていることから、飛散はなく、このままお使い頂いて問題はないが、今後、お客さまのご了解を頂きながら、計画的に改修を進めていく予定
	シール材 ジョイントシート	発電設備等（火力設備・原子力設備等）	・石綿含有製品残数 : （火力）約 60 万個（全数の約 6 割） （原子力）約 50 万個（全数の約 9 割） （その他）約 7 万個	成形品であり、通常状態において飛散性はないが、定期検査や修繕工事等の機会に合わせて、順次非石綿製品へ取り替えていく （ ）一部特殊形状・高温高圧部位等については現状では代替化が困難な箇所もあるが、技術評価などを行い、非石綿製品への移行を推進する